

植中みやこ [湖南省議会議員]

ぶらうにーおばさん ニュース

2017年1月
第55号

発行責任者 黄瀬 昇



くらしのねがいを市政に!



福祉BROUNIE

BROUNIE...

ブラウニーは伝説の中に出てくる妖精です。疲れている人、困っている人の仕事をこっそり、ひそかに手伝うと言われています。「ブラウニーのようにまちの人たちのために働きたい」植中みやこの願いです。

新しい年にかわり、瞬く間に松の内もすぎましたが、皆さまには、例年になく好天気の暖かい新年を、お健やかに迎えのことで存じます。本年も、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

昨年、相次ぐ地震、台風、大火等々、災害の多い年でした。被災地の悲惨な状況や混乱の報道に接するたび、平穏な日常に感謝し、万が一に備えてしっかりと防災・減災準備をしておかなければなりません。

世界の各地での紛争やイギリスやイタリアの国民投票、アメリカの大統領選挙等を見ますと、社会のバランス感覚が大きく変わりつつあるのではないかと感じています。わが国においても、さまざまな経済活性化対策、少子高齢化対策、地域支援対策等々がもう一つ効果をあげられない、難しい時代が続いています。

そのような中ですが、今年もぶれることなく、将来を担う子どもたちがのびのびと育ち、若い世代も高齢世代も、それぞれがそれぞれの持てる力で支え合えるまちを目指して頑張っています。

〈12月議会報告〉

12月議会では、主なもので、28年度第5号補正予算が提案されました。案の中には、石部中学校の学校給食を、自校方式から給食センター方式に移行するために必要な備品購入費864万円が含まれていました。石部中学校の給食施設は、災害時の炊き出し設備として存続の意向が示されました。しかし、今回の移行にあたっての説明が、学校や保護者、生徒また議会にも十分なされていません。予算常任委員会・本会議の審議では、「近い将来、市内全校の児童生徒が同じ給食を受けるために、給食センターに統合されるのを否定するものではないが、学校現場や保護者・生徒・地域住民との意見交換は必要不可欠であり、それらをふまえて、環境が整った段階で予算措置をするべきである」との意見が出され、全会一致で備品購入費を予備費に組みかえる修正案が可決されました。今後は、移行計画をたててしっかりと議論し、関係者周知の上で進めてほしいと思います。この部分以外の補正予算案は可決となりました。

は・ば・た・こう!
高齢者も障がいのある人も..
みんなでチャレンジ
ファーム!



会長あいさつ

「共生社会をめざして」

植中みやこを育てる会

会長 黄瀬 昇



新年明けましておめでとうございます。旧年中は、植中議員と当会に、さまざまのご指導ご支援を賜りましたこと厚く御礼申し上げます。本年も湖南省の福祉の充実のために、植中議員と当会に、更なるご支援をお願い申し上げます。

私は昨年の11月、永年の夢であった「障がいのある人たちの就労支援」につながる養鶏農場(チャレンジファーム)を立ち上げました。今年はいんターシップ、来年からは数名の方が農場で働けるよう目指しています。湖南省が進んでいる障がいのある人への「貫した支援システムの中で「障がいのある人が農業を支える」ことが出来るように頑張っていますので、皆様方のご理解ご協力をよろしくお願い申し上げます。

今年の干支は、ひのお酉です。皆様方も五徳(知恵、勇気、思いやり、たくましさ、信頼)をとり込んで、積年の夢が実現することをお祈り致します。

追伸
たまたま年間契約の会員募集のお知らせです。後日チラシを配布します。

品名・もみじ 1パック(10個)を
年50回(週1回配達)
年会費 10,000円

みなさんのご意見をお寄せ下さい

植中みやこを育てる会

事務所 湖南省北山台1丁目5-6
TEL FAX 0748-74-1060

「ぶらうにーおばさんニュース」を配布して下さるボランティアを探しています。お家の近所のわずかな部数でも結構ですので、ぜひご連絡をお願いします。

ご相談もお受けしています

“何でも相談”安心ネットワーク

代表 植中みやこ

なんでも困ったことは、お気軽にご相談ください。プライバシーは絶対に守ります。

TEL FAX 0748-74-1060

<http://www9.plala.or.jp/u-miyako/>

植中みやこ活動日誌(10月~12月)

- | | |
|------------------------------------|------------------------------------|
| 10/1 菩提寺こども園運動会 子どもの貧困について考えるフォーラム | 14 グループホーム宿泊ボランティア |
| 2 湖南省防災訓練 | 15 ケアハウスボランティア |
| 3 湖南省障がい児者団体連絡協議会 | 16 障がい児者団体連絡協議会の要望について市との懇談会 |
| 4 菩提寺小学校芸術鑑賞会 精神医療相談業務 | 17 精神医療相談業務 |
| 5 議会運営委員会 | 18 湖南三山 |
| 6 議会福祉教育常任委員会 介護予防サロンボランティア | 19 みちくさコンパス 図書館協議会傍聴 県図書館協議会交流会 |
| 7 議会広報委員会 進路相談業務 | 21 介護保険相談業務 |
| 8 さつき作業所保護者懇談会 障がい者スポーツ教室ボランティア | 22 議会全員協議会 介護保険相談業務 |
| 9 身体障がい者更生会ふれあいグラウンドゴルフ大会 | 23 不登校相談業務 |
| 10 グループホーム宿泊ボランティア | 25 議会運営委員会 議会広報委員会 介護保険相談業務 |
| 12 菩提寺小学校クラブ活動ボランティア | 発達支援相談業務 |
| 13 農業福祉連携事業勉強会 | 29 議会本会議 福祉教育常任委員会 庁舎整備計画外部検討委員会傍聴 |
| 14 議会広報委員会 ひきこもり支援事業所「奏」学習会 | 29年度会派要望事項を市長へ提出 |
| 15 菩提寺まちづくり協議会認知症勉強会 | 30 菩提寺小学校クラブ活動ボランティア |
| 20 議会会派代表者会議 議会運営委員会 農業福祉連携事業勉強会 | 31 精神医療相談業務 |
| 21 湖南省要望と県議の意見交換会 ケアハウスボランティア | 12/1 年金相談業務 精神医療相談業務 |
| 22 障がい者スポーツ教室ボランティア | 2 就労相談業務 |
| 23 北山台ふれあい運動会 養鶏場見学 | 4 こたの教室親の会クリスマス会 ひきこもり相談業務 |
| 25 千葉県君津市議会視察対応 | 6~8 議会本会議(6日 代表質問) |
| 26 菩提寺小学校クラブ活動ボランティア | 6 農業福祉連携事業勉強会 |
| 27 視覚障がい者ツアー・ガイドヘルプボランティア | 7 第8次鳥取県北栄町救援隊出発式 会派代表者会議 議会運営委員会 |
| 28 さつき会理事会・職員懇談会 「親の婚活」セミナー | 9 議会予算常任委員会 福祉教育常任委員会 |
| 29 甲西北中学校創立30周年記念式典 | 10 ふるさと防災「住まいの地震対策」出前講座 |
| 30 菩提寺まちづくりフェスタ | 障がい者スポーツ教室ボランティア |
| 31 不登校相談業務 介護保険相談業務 | 12 グループホーム宿泊ボランティア |
| 11/1 精神医療相談業務 合同就職面接会見学 | 15 進路相談業務 発達支援相談業務 |
| 2 甲西中学校文化祭ボランティア | 16 子どもサロンボランティア |
| 災害時要支援者対策意見交換会 | 18 オウム真理教抗議集会 |
| 4 ここびあ(市民産業交流促進施設)竣工式 議会運営委員会 | 19 議会本会議 議会運営委員会 |
| 議会福祉教育常任委員会協議会 | 20 精神医療相談業務 |
| 6 生涯学習ボランティアの会研修 | 21 議会広報委員会 |
| 7 臨時議会 議会IT化研修(大津市議会) | ケアハウスボランティア |
| 9~10 議会福祉教育常任委員会研修(埼玉県和光市・ふじみ野市) | 24 ハルーンアートボランティア |
| 11 議会庁舎整備特別委員会傍聴 | 25 市民活動相談業務 |
| 12 菩提寺歴史文化資料室歴史講座 | 28 消防団年末特別警戒慰問 |
| 13 菩提寺まちづくり協議会グラウンドゴルフ大会 | |
| 障がい者スポーツ教室ボランティア 農業福祉連携事業勉強会 | |



菩提寺小学校芸術鑑賞



甲西中学校文化祭カラム大会

〈代表質問〉

今回は、市長の所信表明について、議会改革ネットワーク会派を代表して質問しました。

【問】分権型社会における自治体経営とは？

【答】地域における住民サービスを担うのは行政のみでなく、市民の皆さまやコミュニティ組織、NPOその他民間団体も協働し、相互に連携していくことが大切です。

【問】農作業用機械の導入に対する補助は？

【答】国の経営体育成支援事業があり、市単独では、昨年からの園芸野菜品目の生産と直売所への出荷を促進するために、野菜等園芸作物生産拡大事業として、園芸施設ハウスの設置、野菜栽培用機械や種苗の購入に対する助成をしています。



ここびあオープニング

【問】地域自然エネルギーの地域経済循環の形は？

【答】市民等の出資により太陽光発電設備4基を設置したコナン市民共同発電所は、売電益を地域商品券で配当しています。市や市内企業等が出資した、こなんウルトラパワー株式会社は、地域新電力事業として市施設60カ所に電力供給をはじめました。公共施設の電力コスト削減から住宅や企業向けにも拡大し、雇用の創出にもつなげていきます。

【問】高齢世代が若い世代を支える考えについて

【答】三世同居の減少や共働き家庭の増加により保育ニーズが増える一方で、子育てに対する不安を持っているケースもあり、子育て経験の深い高齢者が力を発揮する地域づくりを考えています。

【問】中学卒業時までのこども医療費の無料化の考えは？

【答】新たに1億5700万円の財源が必要になり、厳しい状況です。国や県が取り組むべき施策と考えます。

【問】新庁舎の建設について、市民の理解と議論の進め方は？早急に市民の声に誠実に向き合い、より丁寧で分かりやすい、積極的な広報広聴が必要ではないか

【答】昨年度に「湖南省東庁舎周辺整備計画基本構想」を策定、今年度着手している基本計画は、外部有識者等の整備計画検討委員会と庁内の建設等検討委員会で議論を進めているところです。市民にできる限りの情報を提供し、慎重に進めていきたい。タウンミーティング等も考えたい。

【問】提案型の市民の市政参加について、発言や提言をして、それを実施する際には参加する、そして最後まで責任を持つ、このような意識にたって参加し責任をとれる環境にある市民は多くないのではないか

【答】民主市政には、市民の発言内容や結果を含めての責任を伴った参加が求められ、市民一人ひとりが役割と責任を持って、互いを思いやり支え合う社会であるべきだと考えます。



防災・減災に女性の視点を・・・女性議員4人が防災士資格を取得しました。

あなたと始める
あなたと考える
誰もが安心して暮らせるまちづくり

ぶらうにーお婆さんの
ぽけっとから

農業の戦略的取り組みに農福連携を

国では農業の活性化策として、農地の集約化の推進や、2017年度産を最後とする減反政策の廃止、JAに限定しない流通の仕組み等を出しており、県や農業再生協議会の進め方が注目される所です。

日本の農業現場の平均年齢は67歳、高齢化や後継者不足に悩んでいます。一方、働く意欲の持てないニートといわれる人やうつ状態等で仕事を辞めてしまった人、障がいのある人たちの就労機会は不足しています。

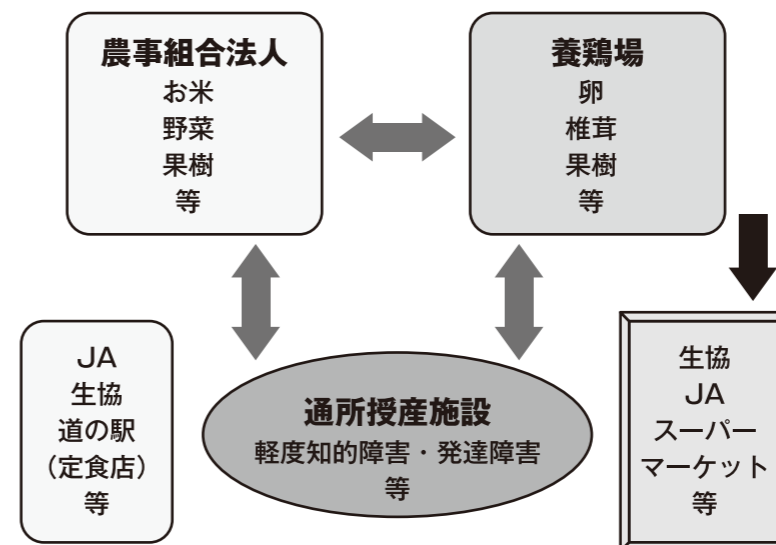
本市では、就労情報センターやチャンスワーク湖南等が設置されていますが、継続的な雇用はまだまだ、ほんの一握りです。農福連携が進み広がれば、社会の中で生きづらさをかかえる人が、農業を支え、食糧自給に貢献し、環境を守ることに役立つ可能性を持っています。地域経済の担い手が増えるわけです。逆に、農業は、そのような人たちが、社会の役割を果たす場を提供する可能性を持っています。

農業を、単に農産物を生産するための産業として位置付けるだけではなく、加工販売、レクリエーション、治療リハビリ、教育、宿泊等々、農の福祉力を生かした「新たな農業」、目に見えない癒しや治療や楽しさなどの「サービス」を提供する産業、そして何よりも、助成を受ける対象だけではなく、労働を提供する社会の一員として位置付ける人たちを育てる・・・このような農福連携の考えに共感する仲間たちと、チャレンジファームの一步を踏み出しました。

代表質問の答弁では、市も遊休農地の発生を抑え、農地の有効活用・効率的利用を進めるために、既成観念を取り払い、さまざまな市民が参画できる仕組み・・・障がいのある人の働く場や高齢者の介護予防・健康づくり等、具体的な施策を検討中とのことです。

それぞれの分野が持つ可能性をつないで、進めていきたいと考えています。

農福連携の一例



「ヘルプマーク」

外見ではわからない病気や障がいの人が「配慮を求めるマーク」の周知啓発を提言しました。